

お茶の水女子大学 海洋教育促進プログラム（日本財団助成事業）

“教室に海を” プロジェクト 冬休みの教員研修会

お茶の水女子大学湾岸生物教育研究センターでは日本財団の支援により、“教室に海を” プロジェクトとして、小学校・中学校・高等学校などでの海洋教育のための“生（なま）”の素材を提供しています。このプロジェクトで提供するウニ卵・精子教材などの使用方法やその応用例を紹介する事前研修会を以下の通り開催いたします。今年度は全面オンライン開催となりますので項目を選んで参加することも可能です。

日時： 2020年12月26日（土）、2021年1月5日（火）、6日（水）

形態： Zoomを利用したオンライン会議による研修と交流

定員： 項目3は5校程度、他の各項目はそれぞれ10校程度

- ☆ 魚の形態観察（下記項目3）に参加される学校（先着5校）には1/5の午前中に届くように冷凍雑魚を発送します。各自、その場で魚が解剖できる状態で参加してください。
- ☆ ウニ教材の研修（下記項目5）参加者（初めて当教材を利用される先着10校）には1/6午前中に届くように教材のサンプルを送付しますので、そちらを手元に置いたうえで顕微鏡の使える環境で参加してください。

内容：各項目の詳細は次ページ参照

項目	開催日	開催時間	内容
1	2020年12月26日	13:30-15:00	「教室に海を」の各種教材と教室ミュージアムの紹介
2	2020年12月26日	15:00-17:30	海洋教育オンライン相談会
3	2021年1月5日	13:30-15:30	冷凍雑魚を用いた魚の形態観察
4	2021年1月6日	10:30-12:00	海洋教育に関する動画教材について
5	2021年1月6日	13:30-15:00	ウニ卵精子教材の研修
		15:00-17:00	ウニ幼生飼育教材の研修

※ Zoomリンクは参加者に別途お知らせします。

問い合わせ先：

お茶の水女子大学湾岸生物教育研究センター wangan@cc.ocha.ac.jp tel 0470-29-0838

2020 年度冬休みの教員研修会 各項目の内容

1. “教室に海を” プロジェクトの各種教材と教室ミュージアムの紹介（担当：和田、渡辺）

お茶大湾岸センターが提供している“生（なま）”の海の素材の紹介と、お茶大サイエンス&エデュケーションセンター（SEC）で行っている空き教室を利用した巡回ミュージアムの案内を担当者が直接行います。それぞれの実施例なども紹介します。

2. 海洋教育オンライン相談会（担当：清本）

海洋教育全般に関しての相談や海の生物に関する質問に応じながら参加者同士の交流を深めます。リクエストに応じて、臨海施設や飼育生物なども紹介します。

3. 冷凍雑魚を用いた魚の形態観察

魚類の形態比較をメインとした実習例を、予め送付した冷凍雑魚を用いて紹介します。解剖バサミ（あればメスも）、ピンセット、バット、ゴム手袋などを各自ご用意の上、ご参加ください。

4. 海洋教育に関する動画教材について（担当：和田）

湾岸センターで用意している動画教材について、現在利用可能なものの案内と、その共有方法や活用方法などを紹介し、今後どのような動画教材がどんな形で使えると良いかについて参加者からの声も聞けたらと思っています。YouTube での動画の限定公開なども試す予定です。

5-1. ウニ卵精子教材の研修（担当：和田）

予め送付した卵精子教材を手元に置いていただき、顕微鏡が使える環境で一緒に作業しながら受精実験の手順を研修します。教材送付無しの視聴だけの参加も可能です。

5-2. ウニ幼生飼育教材の研修（担当：清本）

卵精子教材で受精実験を行った後、引き続いて幼生飼育を行うための「植物・動物プランクトン教材」について、その内容や使い方を説明しながらウニの飼育についての研修を行います。

担当者：

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 渡辺 友美

お茶の水女子大学湾岸生物教育研究センター 清本 正人、吉田 隆太、和田 祐子